

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【鈴谷小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方」「書くこと」 算数「数と計算」「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。読書の質や量を学力につなげたい。	⇒ ・漢字の学習時には、漢字の意味を理解し、自分で考えた文や辞書を活用した言葉練習をする。【毎時間】 ・読書力や表現力を高めるため6年間使用する読書ファイルを作成し、100選リスト等を活用した読書活動を行う。【週1時間以上】 ・ドリルやドリルパークの個別課題等を活用し、一人ひとりの課題に合った学習を進められるよう指導する。【単元に1回以上】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「書くこと」 算数「図形」「データの活用」 <指導上の課題> 個に応じた指導を充実させていく必要がある。自分の言葉で表現する活動を十分に確保したい。	⇒ ・教科を問わず、自分の考えを表現する活動を充実させる。相手や目的意識を念頭に置きながら、ワークシートに書く、友達と意見交流する、学級で発表する等の時間を確保する。【毎時間】 ・様々なデータに触れる機会を増やし、データを読み取る際の視点を明確にし、自分の言葉で表現する等、授業の工夫改善を図る。【データを扱う単元毎時間】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)